

今だから言える、避難先で「できたこと」「できなかったこと」
そして、次に備えるために「どうしたらいいのか」を考える

第1部 講演

子ども・障がい者・高齢者・女性の視点で考える 誰もが災害を生きのびるために ～男女共同参画の視点による熊本地震対応状況調査から～

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
内閣府「男女共同参画の視点による熊本地震対応状況調査」検討会座長

講師 **浅野幸子さん**



早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員、専修大学非常勤講師。
阪神・淡路大震災に際して学生ボランティアから国際協力NGOのスタッフとなり、在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興まちづくり協議会の支援などに4年間従事。その後、(財)消費生活研究所、全国地域婦人団体連絡協議会でそれぞれ事務局・研究員として勤める。この間、働きながら法政大学院修士課程修了(政策科学修士)。
2011年6月に発足した東日本大震災女性支援ネットワークの活動に参加。2014年4月より、後継団体である、減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表。主な分野は地域防災。多様な被災者の立場の視点にたった講演・講座・研修を各地で行っている。

第2部 トーク×トーク×トーク

今だから言える、「私たちは避難先で…」

熊本地震で避難所運営や被災者支援に関わった方をパネリストに迎え、多様な被災者ニーズに対応するためにどのような工夫や決断をしたのか、「できたこと」と「できなかったこと」の背景にあるものは何かなど、実際の経験とそこから導き出されるヒントを参加者のみなさんと共有します。

日時：平成30年2月10日(土) 13:30～15:30

場所：くまもと県民交流館パレア 9F 会議室1

定員

50名

(先着順)

参加無料

無料託児あり

参加申し込みが必要です

※1歳～未就学のお子様を預かります。申し込みの際に必ず「託児希望」とお知らせください。
準備の都合上、託児の申し込みは2月1日(木)までになります。ご了承ください。

【申込方法】メール・FAX・電話のいずれかで、事前にお申込みください。

パレアミニシンポジウム申込 として **氏名** **電話番号** をお知らせください。

【申込先】くまもと県民交流館(熊本県男女共同参画センター)

メール danjocenter@pref.kumamoto.lg.jp、FAX096-355-4317

☎096-355-1187 (☎は平日の8:30-17:15のみです)

主催：熊本県くまもと県民交流館パレア